

サイクルアンドバスライドの試行について

■1 サイクルアンドバスライドとは

サイクルアンドバスライドとは、自宅からバス停まで自転車で行き、自転車をバス停付近に駐車してバスを利用方法である。バス停圏域を広げることができる一方、バス停付近に駐車した自転車が放置自転車にならないようバス停付近に駐輪場を設ける必要がある。

平成 29 年度、令和2年度の国立市地域公共交通会議で、情報提供を兼ねて茅ヶ崎市内、三鷹市内などの事例を紹介した。一方、国立市南部地域における公共交通について、過去にワンボックスカーを使った定時定路線の試行運行(平成26年度～29年度)、デマンド交通の実証実験運行(平成30年10月～12月)を実施してきたが利用が芳しくなかったこと、市民からの要望も寄せられたこと、運転手不足などの状況を勘案すると新規路線の運行は困難と考えられ、現状運行している路線の利用者を増やす工夫をする必要が生じていることから、改めてサイクルアンドバスライドの試行について検討することとなった。

■2 国立市南部地域の地形的特徴

国立市南部の多摩川河岸段丘の最下段である沖積低地は、国立インター付近で標高58m程度となっている。一方、矢川駅は多摩川河岸段丘の青柳面(標高70m程度)、谷保駅・国立駅は立川面(標高75m程度)に位置し、沖積低地と青柳面、立川面の間には段丘崖が存在する。沖積低地と青柳面、立川面の標高差は20m以下であるが、特に高齢者を中心に段丘崖の坂道が徒歩、自転車での移動の際に負担となっているとの声がある。

■3 サイクルアンドバスライド実施のポイント

- ・多摩川沖積低地内相互の移動は基本的に高低差がない(立川バス泉団地バス停、国立操車場バス停、京王バス多摩青果市場前バス停はいずれも沖積低地に位置する)。
- ・サイクルアンドバスライドの駐輪場は通常無料なので、シルバーパスを利用すれば移動時の支出なしで矢川駅、谷保駅・国立駅などに出ることができ高齢者の外出支援に資する。

■4 多摩地域での実施事例

三鷹市で 4 カ所、実施している事例がある(利用料は無料)。

駐輪場名称	収容台数	備考
新川天神社前駐輪場	50 台収容	東八道路沿い
天文台下駐輪場	52 台収容	
牟礼駐在所駐輪場	50 台収容	
中原高架下駐輪場	100 台収容	中央自動車道高架下

担当者に電話ヒアリングをしたところ、以下のような回答を得た。

- ・用地については都の土地、NEXCOの土地、市有地の道路用地を利用している。
- ・管理や維持は、駐輪場管理の委託先のシルバー人材センターに不定期で月1回清掃も兼ねて巡回してもらっている。
- ・放置された自転車については札付けをして7日以上経過した自転車を撤去している。

■5 国立市近隣の事例

- ・新奥多摩街道沿道に位置する西武バス新道福島停留所には自転車ラック付きの本格的なサイクルアンドバスライド用駐輪場が整備されている。



写真1 西武バス 立71系統 新道福島停留所

■6 今後の進め方

(1)留意点

- ・社会実験などの形で小さく始めて育てていく進め方を取りたい。
- ・新たに土地を取得することは難しい。
- ・そもそも市域が狭く(東西 2.3km 南北 3.7km)、平成 29 年度以降民間のシェアサイクルのステーションの設置も進み30か所を超える状況にある(自転車は電動アシスト車。ステーションは市の公共交通マップにも掲載している)。このような状況の中で、自分の自転車でバス停に出てバスに乗り換える必要性があるか検討が必要。
- ・5月までは泉団地の隣接地にあった放置自転車保管所が、6月以降は中央線高架下に移設となってしまう、自転車を放置された場合の対応について検討が必要。

(2)候補地

- ・スペースに余裕がある国立操車場バス停のスペースの一面を使用することを予定。
- ・国立操車場バス停は、矢川駅経由国立駅行きの立川バスが発着している。



図1 国立操車場バス停位置図

- ・停留所スペースの一部に自転車を10台程度駐車可能なスペースを確保できる。



写真1 自転車駐車スペース設置イメージ

- ・上記の利用状況を見ながら、国立泉団地バス停、多摩青果市場前バス停などでも試行できないか検討していきたい。